

# MAZKA

ナスカ

ACT 10



作 SATOTOMO

# MAZCA

ナスカ

ACT 10



作 SATOTOMO

クリフ・バレーに  
着いてから  
一週間が経った

コンソールの  
操作も

板に着いてきた  
みたいだな

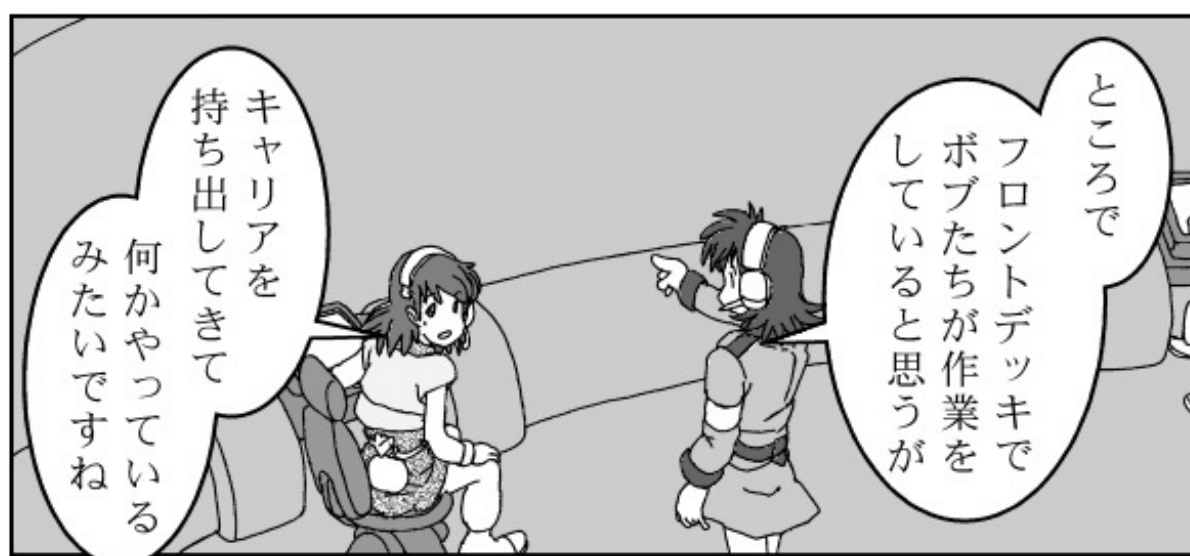
アレンは教えて  
もらったことの  
飲込みが早いな

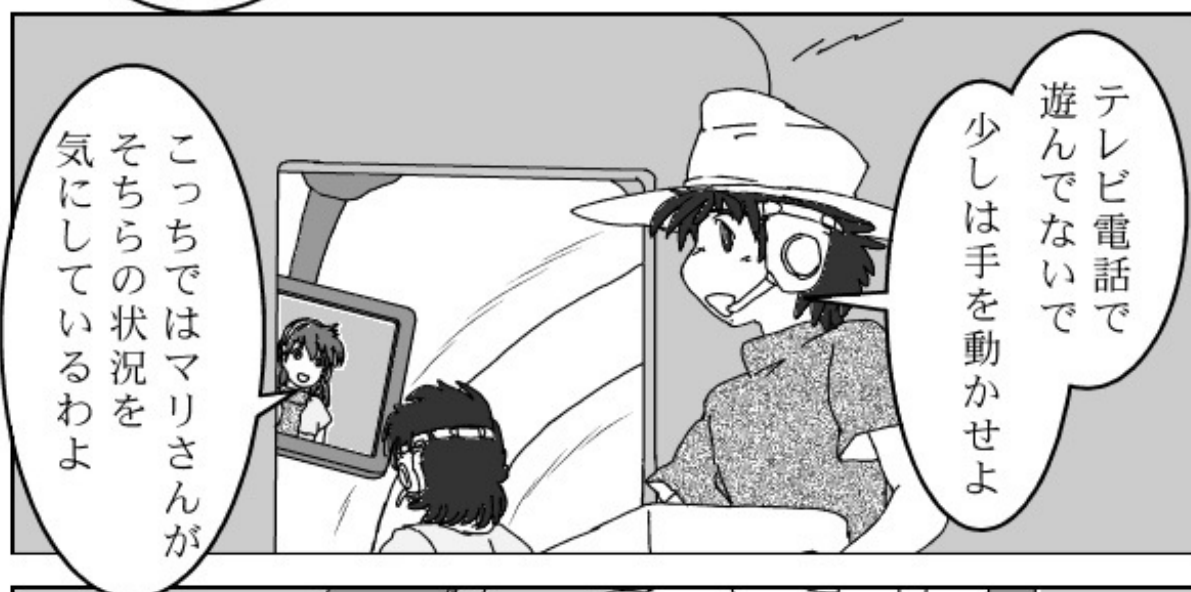
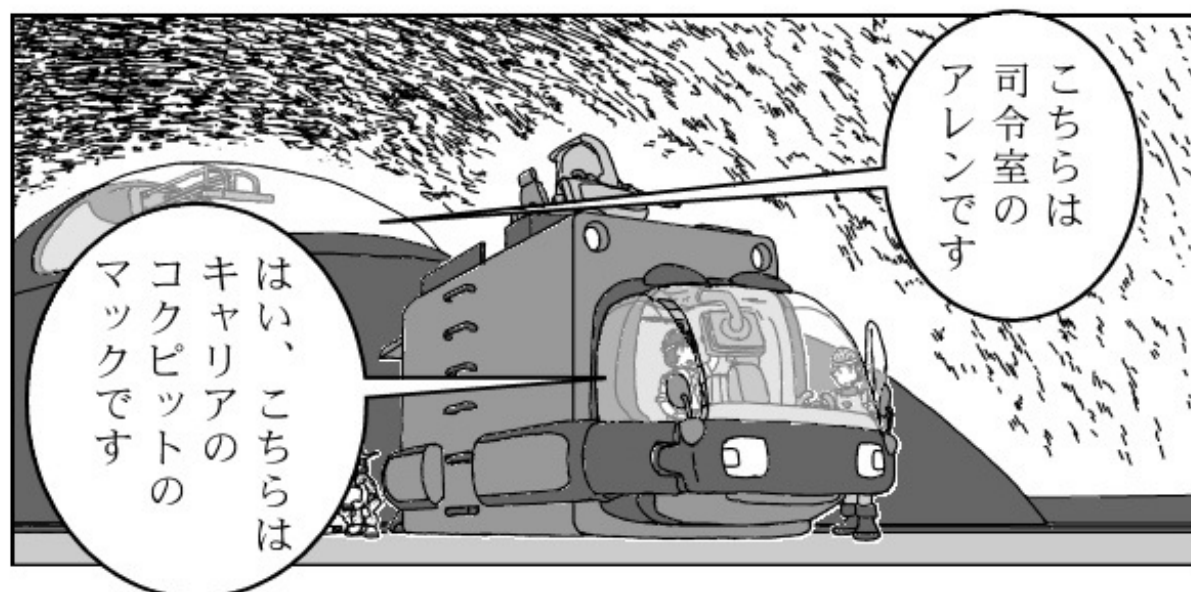
私の方はどうも  
うまくいかない

キムお爺さんの分は  
私の方でカバーするから  
心配しなくていいよ

外部の索敵と  
基地内装置の監視は  
私だけでも何とか  
大丈夫そうです

基本的な操作に  
関してだけ  
ですけど・  
・







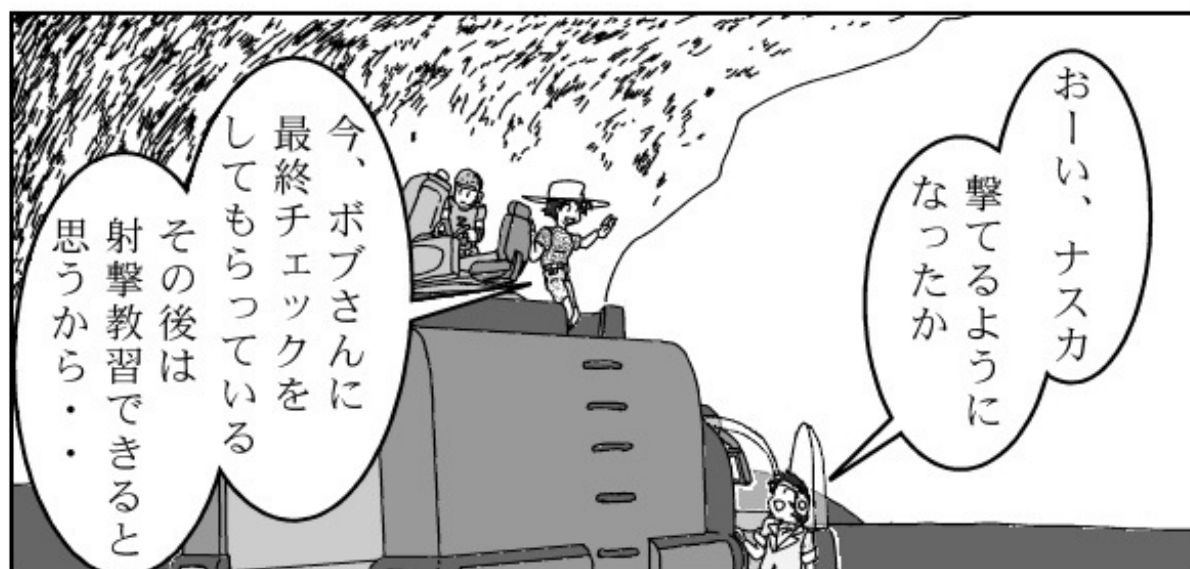
試射の前に  
セッティングを  
確認させてくれ

お願いします

空港跡での戦闘で  
武器をことごとく  
持ち出して

この銃座は  
虎の子の一機  
なんだから

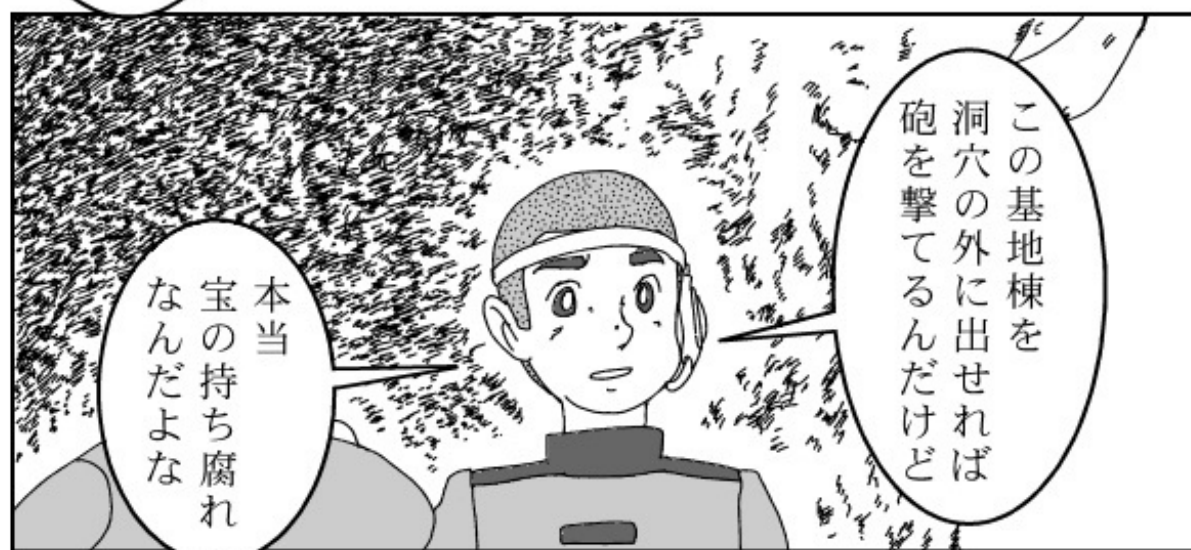
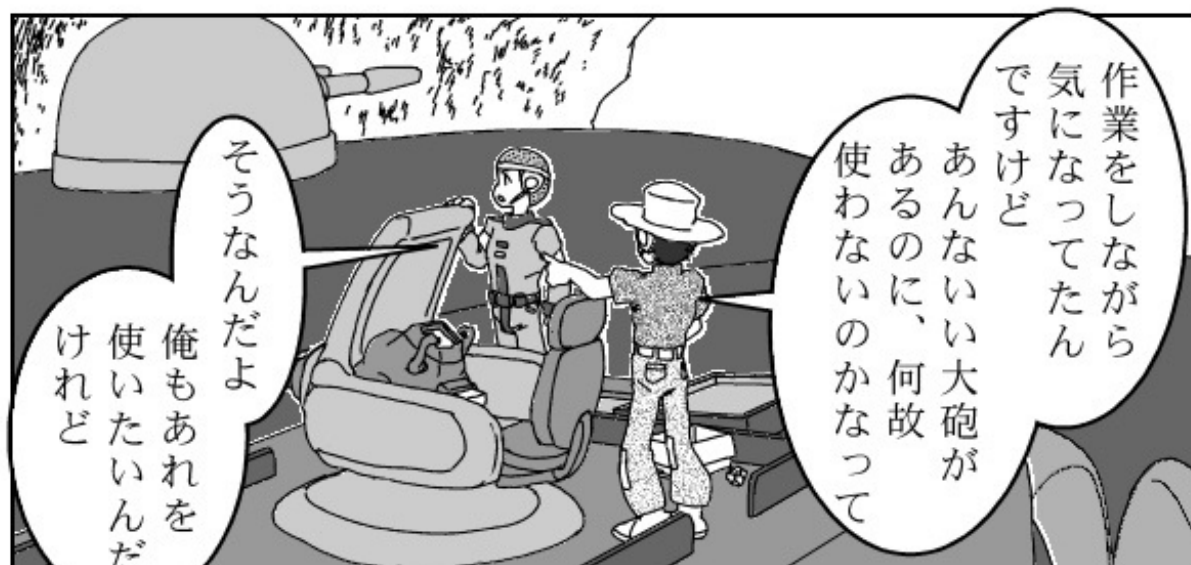
でも  
こんな小型火器で  
白軍のタンク相手に  
守り切れるんですか？

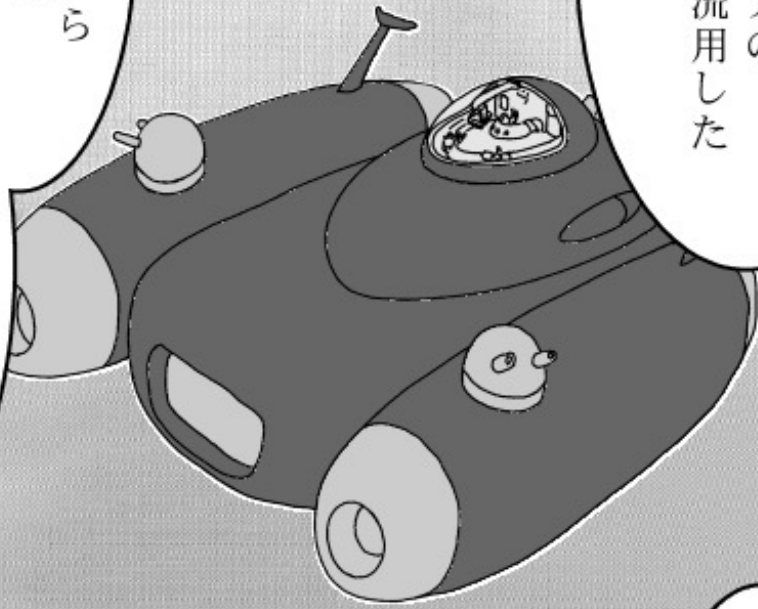


おーい、ナスカ  
撃てるように  
なったか

今、ボブさんに  
最終チェックを  
してもらっている

その後は  
射撃教習できると  
思うから・・・





もともとその棟は  
旧デストリアの  
空中戦艦を流用した  
ものなんだ

中央司令室から  
移動も砲撃も  
コントロールできる

でも、そのためには  
今の人員では  
人手が足りないんだ

マリもそのことは  
理解しているから

司令室のメンバーで  
対応を検討してくれて  
いると思う・・・

話を曖昧のままに  
しておかない方が  
いいですよ

僕が司令室に上って  
その辺の事を  
確認してきます









すまないな  
作業中の処  
集まって  
もらって

キャリアの作業  
お疲れさまです

ガラッ



キャリアの用意  
急ぎの仕事じゃ  
なかったのか？

射撃の調子が  
のってきた時に

大型砲の話  
俺ひとりだけじゃ  
役不足ですか？

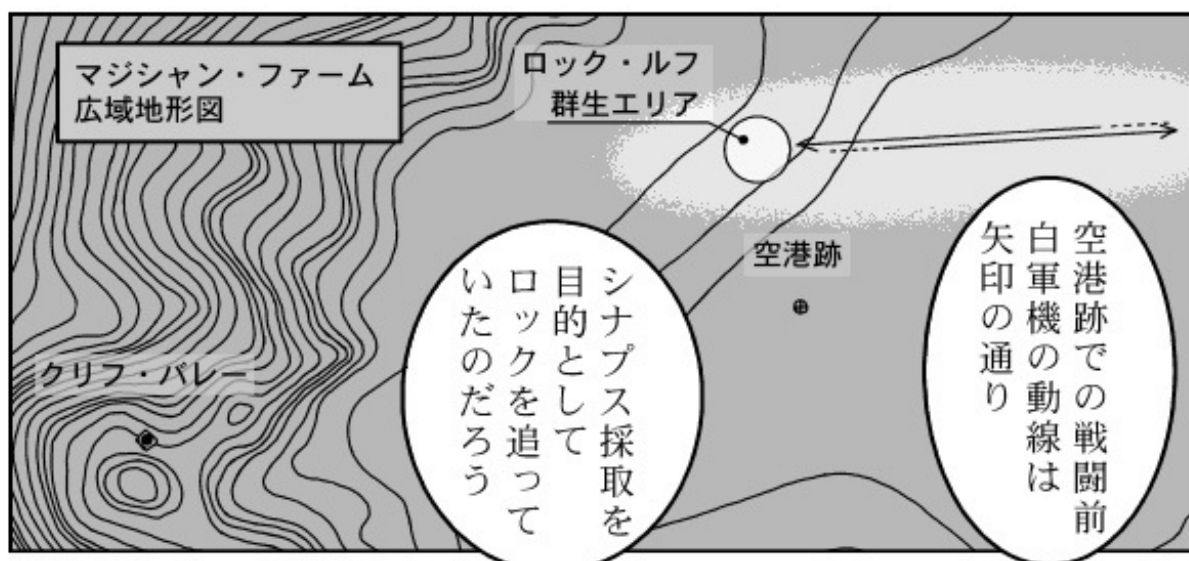


それとも全然  
別の話ですか？

そうだな  
大型砲の話も  
だけど

それだけじゃ  
ない

ちよつと  
パネルを見て  
ください





タンク撃墜地点で  
生存者の搜索でも  
始めたんだらうか

全くな人でなし  
でもないんだ

これを機に白軍も  
シナプソルジャー復活の  
謀略を中止してくれれば  
いいのだが・



救助活動を  
やっているとは  
断言できない

俺が白軍の  
立場だったなら  
情報サルベージを  
やるだらうな

戦闘をしてまで  
空港跡の秘密に  
執着するくらい  
なんだから



奴等は  
シナプスの情報を  
喉から手が出る程  
欲しいわけだし

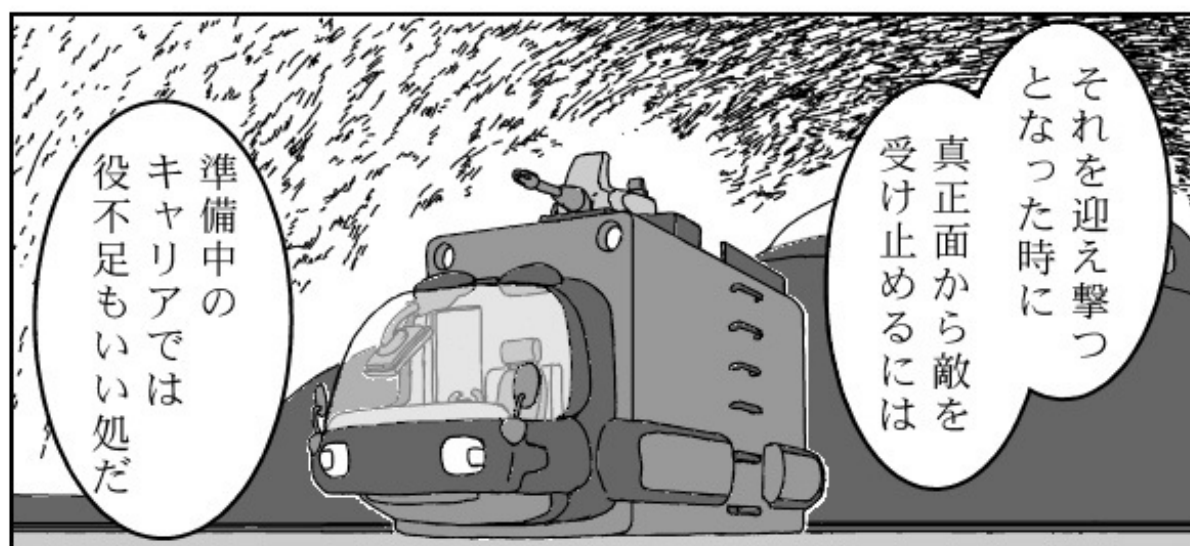
それにもうひとつ  
あそこには我軍の  
黒タンクの残骸も  
あるんだ

レジスタンスの情報も  
狙っているはずだ



最悪の場合  
それも有り得る  
ということだ

つまりそれって  
白軍がこの基地の  
場所を探り出して  
ここに攻めてくる  
ってことですね



準備中の  
キャリアでは  
役不足もいゝ処だ

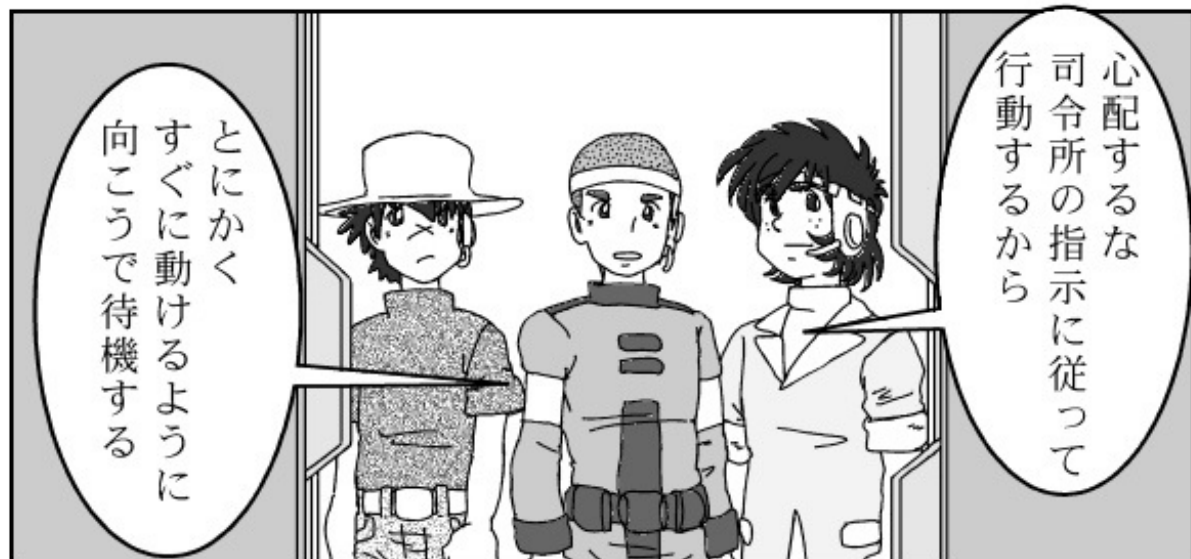
それを迎え撃つ  
となった時に  
真正面から敵を  
受け止めるには



マリさんは  
増員しないと無理  
というけど  
少人数でも  
運用できる設定がある  
かもしれなしいし・

大型砲を使いた  
って言う話を  
ナスカから聞いて  
私もコンソールで  
調べ始めた処よ











ACT11へつづく・・・

# NAZCA ACT10

作者 SATOTOMO

E-mail [BXJ05041@nifty.com](mailto:BXJ05041@nifty.com)

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2014年6月14日

本書の一部または全部を無断で複製することは禁止します。

## NAZCA ACT10

<http://p.booklog.jp/book/87052>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/87052>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/87052>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ